

平成 28 年 6 月 15 日  
13:30～  
豊田市職員会館

木づかいガイドライン作成資料について

- 1 平成 27 年度 木づかいガイドライン活動総括について
- 2 平成 28 年度 木づかいガイドラインの活動方針について
- 3 木づかいガイドラインの原稿作成について
- 4 木づかいライブ スギダラキャラバンについて
- 5 応急仮設住宅の建築体験について
- 6 その他

## 1 平成 27 年度 木づかいガイドラインの活動総括について

- ① 平成 26 年度の総括は「木づかいライブ・スギダラキャラバン」を行うことにより、広く市民に対して矢作川流域材の活用による「木づかい」推進を図ると共に、流域の方々が連携して地域の生活空間を自らのアイデアと行動でスギダラケにしていこう、というものであった。
- ② 平成 27 年度はこの総括に基づき、「木づかい」推進のリーダー役を務める根羽村森林組合が中心となって「木づかいライブ・スギダラキャラバン」を実施し、里山市民グループ・地域の団体等と連携しながら、流域内の様々なイベントとジョイントを図り、地域に活力を生み出す元気な人の輪を育成するよう努めた。その実施内容は別紙のとおり
- ③ 特に本年度は、木づかい推進活動を通して、豊田市、安城市、岡崎市、恵那市の各行政機関と連携の輪が強化されると共に、豊田市フリーペーパー誌との協働企画による木づかい推進活動を行い、今後の新たな展開力を得られたものが多かった。
- ④ 中でも、安城市デンパーク、豊田市駅前での「あそべるとよたプロジェクト」における木のアイテム展示・木工作体験等による木の魅力や楽しさの発信は、改めて「木」は多くの方々を魅了するものであること、集客効果をもたらす「プレイスメイキング＝場所の力づくり」にも大きく貢献するものであることが認識できた。
- ⑤ 同時に、スギダラ天竜支部とのコラボである「矢作川流域ものさし」やスギダラ商品の一環として「動く木のおもちゃ」、「貸切風呂 根羽の湯」、「根羽物置」等、木のアイテムの開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案した。
- ⑥ 部会では別紙「山部会 木づかいガイドライン作成の取組整理表」を作成して活動内容を整理した。その内容は次のとおり。今後、ガイドラインの作成を中心として、最終目標である矢作川流域内の木を活用した木づかいの定着に向けた様々な活動を展開し、これらの活動と併せて適切な森林整備、水資源の安定供給、林産業の振興、地域の活性化等に結びつけたい。
  - ① 木づかいの楽しみや取り組みを紹介するガイドラインの作成
  - ② 木の魅力と楽しさを地道に市民に伝える「木づかいライブ スギダラキャラバン」の継続的な取り組み
  - ③ 木のある暮らしを楽しむための様々な木のアイテム提案・開発
  - ④ 矢作川流域内の木を活用した木づかいの定着「矢作川ディスプレイ」、「木づかい市民活動」、「フェアトレード」、「流域連携」への展開

## 2 平成 28 年度 木づかいガイドラインの活動方針について

- ① 平成 26 年度に作成した提案型「木づかいガイドライン さあ~しよう」の原案を基本に、各提案項目について提案が可能なものから順次提案者へ原稿を依頼して作成業務を行う
- ② 「木づかいガイドライン」は、こうした方法で順次提案者に作成依頼を図りながら、その内容を増やしていく
- ③ 並行して開催する「木づかいライブ・スギダラキャラバン」は、「木づかい」推進のリーダー役を務める根羽村森林組合がまとめ役となって、里山市民グループ・地元工務店・地域の団体等と連携しながら、流域内の様々なイベントとジョイントを図り、地域に活力を生み出す元気な人の輪を育成する
- ④ 「木づかいライブ・スギダラキャラバン」開催を通して、「森づくりガイドライン・木づかいガイドライン」等の森づくりと木づかい情報を発信して、矢作川流域の森林資源・木づかい推進活動を紹介しながら、森や木づかいのファンを増やしていく
- ⑤ 同時に、木育アイテムや「どこでもシリーズ」等スギダラ商品の開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案して、その普及と定着を図る
- ⑥ こうした楽しい「木のある暮らし」の普及を基本として、市民自らのアイデアと行動で身近なあらゆる生活空間をスギダラケにする市民活動を生み出し、「人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす 森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイル 矢作川ディズ」を確立する
- ⑦ 具体的な活動内容は、別紙「山部会 木づかいガイドライン作成の取組整理表」に掲げた内容等とし、これらの実施内容もそれぞれの事業主体に応じて「木づかいガイドライン」の掲載していくものとする

## 山部会 木づかいガイドライン作成の取組み整理表

| 区 分                              | 主 体 者   | 内 容  |
|----------------------------------|---|--|
| 木づかいガイドライン                       | 市民<br>行政<br>業界<br>研究者   | 「さあ～しよう」提案   |
| 木づかいライブ スギダラキャラバン                | 根羽村森林組合   | 別紙 スギダラキャラバンの実施<br>スギダラ天竜支部との連携<br>木の魅力と楽しさを「森の民」が伝える<br>木製品の受注販売<br>木づかい推進の取り組みに対する公的資金による支援(公園等の木づかい推進拠点)  |
| ↑<br>様々な木のある暮らしのアイテム提案           | 根羽村森林組合   | どこでもシリーズ → 水平展開から垂直展開へ<br>動く木のおもちゃ → 木の魅力に釘付け・木の魅力への導き<br>流域ものさし → 全国共通アイテム化・私の流域甲子園<br>根羽物置 → 手が届く価格・実用的・自由設計・自分で建てられる<br>安曇野市 中房温泉 貸切風呂「根羽の湯」 → 露天風呂交流・青少年の動機付   |
| 矢作川ディズ・木づかい市民活動・<br>フェアトレード・流域連携 | あそべるとよたプロジェクト<br>流域フェス<br>豊田市<br>市民<br>東幡豆漁業組合と根羽村森林組合<br>安城市と根羽村森林組合<br>中房温泉と根羽村森林組合<br>信州大学等と根羽村・根羽村森林組合<br>豊田市製材工場と根羽村森林組合<br>流域内工務店と根羽村森林組合 | 市民提案・参加型プレイスメイキングによる流域連携の拠点創設<br>流域連携イベント → 市民活動に向けたキックオフ<br>川会議による流域連携<br>私の流域物語・スギダラキャラバンへの参加による木の魅力の気づき<br>漁礁及び憩いの浜辺プレイスメイキング(場所のカづくり)<br>木材利用指針・公的資金支援・カーボンオフセットを原資とした木づかい推進活動<br>愛知県小中学生を対象とした温泉・山岳・森林・木づかいファンづくり<br>流域資源活用・持続可能な流域づくりのための流域内知の集積ツアー<br>お互いに補完しあう矢作川流域材の生産・流通<br>木づかい推進活動と連携した「子供の時から始める木の家づくり物語」<br>テーマ性・デザイン性・遊び心満載の三地域居住者向けコンパクト住宅 |

木づかいガイドライン作成・活動方針（案）

1 木づかいガイドラインの提案者・モニター・場所について

提案者・モニター・場所についての考え方は下表のとおりとして、共通認識を持って、その役割を担う方・場所を選定したい

| 区 分     | 内 容  |
|---------|--|
| 提案者     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに木づかいの実績のある方</li> <li>・その取り組みが将来的な木づかい推進に結びついている方</li> <li>・心から本心でその木づかいに取り組まれている方</li> </ul>    |
| モニター    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その提案に対する見込客と考えられる方</li> <li>・その木づかい推進の中心的な対象（年代）と考えられる方</li> <li>・その方に教えると多面的な展開が期待される方</li> </ul> |
| 場所      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その取り組みの実績がある場所</li> <li>・その取り組みを発信する際、中心的な方・組織の存在する場所</li> <li>・その取り組みの活動拠点が作れるところ</li> </ul>      |
| イベントの性格 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木づかい需要創造イベント</li> <li>・木づかい体感・センスオブワンダーイベント</li> <li>・木の感謝祭イベント</li> </ul>                         |

2 木づかいガイドラインの原稿依頼について

木づかいガイドラインの原稿依頼については、次のとおり共通認識を持ちたい

- ・提案者は上記のモニターと一体となって、その取り組みを広げていく「木づかいの潮流」を意識して、原稿を作成する
- ・特にモニターを「見込客」と意識することから、モニターに何を感じてほしいか、興味を持ってもらいたい点は何か、を明確にして提案する

| NO | 原稿依頼者 | テーマ | 時期 |
|----|-------|-----|----|
|    |       |     |    |
|    |       |     |    |

- ・当面、すぐに記載が可能な根羽村森林組合・豊田森林組合からスタート
- ・趣旨の説明文
- ・ガイドラインの案内文

### 3 木づかい推進・木づかいガイドライン事業の各市町村連携による予算化について

今後の「木づかい推進・木づかいガイドライン事業」を進め、木づかい推進による「地域森林資源の整備と活用」、「木づかい上下流連携によるフェアトレードの実現」、「木づかい推進スタイルの確立による持続可能な地域づくり」等、実効性を高めるためには、矢作川流域圏懇談会に参加されている各県・市町村・関係団体の持続的・共通認識的な予算化による支援が必要と考えられる。

そこで、こうした各関係団体が「木づかい推進」の必要性を認識し、予算化しやすくするため、国土交通省及び「山部会からの提案＝各県の木づかい推進を願う市民」からの声として、矢作川流域圏懇談会に参加されている各関係団体へ「木づかい推進・木づかいガイドライン事業」の予算化を要望していきたい。そのまとめ役は国土交通省とし、その内容（案）は以下のとおりである。

| 予算依頼者 | 事業名             | ポイント   |
|-------|-----------------|--|
| 県     | ・木づかい推進活動拠点支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木づかい推進に必要な活動拠点となる施設・空間の提供・設置に対する支援</li> <li>・木づかい推進活動の「道の駅」利用に対する斡旋</li> </ul> |
| 市町村   | ・木づかい推進活動支援事業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木づかい推進活動に必要な人件費・試作材料費・活動場所提供等に対する支援</li> </ul>                                 |
| 団体    | ・木づかい推進事業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木づかい推進・普及を図るための独自予算化</li> </ul>  |

( 案 )

関 係 者 各 位

矢作川流域圏懇談会

山部会座長 蔵治 光一郎

「木づかいガイドライン」等の原稿作成について(協力依頼)

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通省豊橋河川事務所所管の「矢作川流域圏懇談会」では、長野県から愛知県に至る矢作川に関連する様々な課題を解決し、流域にすむ私達の暮らしを豊かにするため、平成 22 年度から山、川、海の 3 部会を創設して、市民や各関係者が定期的に集まって検討を進めています。

特に山部会においては、上流域の森林資源を下流域で活用することが、森林整備の推進や水源かん養機能の発揮、地域振興に結びつくことから、「森づくり」や「木づかい推進」をテーマに継続的な活動を展開しています。

そこで今後、矢作川流域内で「森づくり」、「木づかい推進」活動をより積極的に展開していくきっかけとして、皆様ひとり一人の先進的な取り組み・考え方を「木づかいガイドライン」等として取りまとめ、広く流域市民に紹介していきたいと思えます。

ついては、当趣旨をご理解いただき、下記のとおり原稿を作成の上、取材担当者にお渡しいただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 事例紹介原稿 市民編、市町村編、業界編、研究者編のどれかを選択してください
- 2 提出期限 平成 28 年 11 月 30 日までに取材担当者に提出してください
- 3 取材担当者 こちらで紹介させていただきます

〒441-8149

愛知県豊橋市中野町字平西 1-6

国土交通省豊橋河川事務所

担 当

TEL 0532-48-8107

FAX 0532-48-8100

Email uno-t85aa@cbr.mlit.go.jp

(例)

今すぐはじめる木のある暮らし

矢作川流域 「木づかいガイドライン」



矢作川流域圏懇談会



木づかいガイドラインを始めて手にした方々へ

「木のある暮らし」を始めるためのガイドラインの楽しみ方

「木づかいガイドライン」はあなたが主役になって、あなたのライフステージを「木のある暮らし」に変えていく楽しい提案がたくさんあります。最初は、あなたが取り組めそうなテーマを選んで、ご自身自ら楽しんでみてください。テーマは様々な木づがいから、森に出かけていって楽しむものまでとてもたくさんあります。

あなたが「木のある暮らし」の扉を開くと、そこには森や、森や木に関わる人達のもとても大きな人の輪につながる無現の世界が広がっています。その世界は、あなたの心の中にきつととても魅力的で豊かな時間を作り出すことでしょう。

木の楽しみの原点は何でしょうか。それは、自分の好きな木を使って、自分の思い通りに様々なものをつくることです。木を手にとって、まず木の温もりを感じてください。その木と友達になってください。木の木目や色合いや香りを感じてください。そこから、あなたが木と共に過ごす時間と比例して自然に高まる知識や技能を楽しんでください。今まで知らなかった魅力的な世界が目の前に一杯広がっていることをあなたは感じることでしょう。自らの手づくりによって「木のある暮らし」を始めることによって、木と友達になって自分の時間を作り、そして自らの知識と技能を高めて「生活の品質」を高めてみてください。

いくつかのテーマの中で、あなたができるようになったもの、それは、今度あなたがその場面で主役になれるということです。そのテーマの技術を使って今度はあなたが主役になって木の魅力を多くの人に伝えてほしい、と思います。そこで、なにか課題を感じたらこのガイドラインにのっている方々に相談してみてください。きっと、参考になるたくさんのヒントを教えてくれることでしょう。また、新しく得られた知識・経験・技能は木づかいガイドラインに提案してください。皆で、矢作川流域の木づかいの場面や品質を高めていきましょう。

木づかいガイドラインを作った私達は、これから矢作川の流域圏を活動対象とした「木づかいライブ・スギダラキャラバン」を開始します。この取り組みはできる限り、各地域のイベントやお祭りなどの時に、木を楽しむイベントを開催して、木の魅力を伝え、同時に木づかいガイドラインも配布して、木のファンを増やしていくことが目的です。このイベントに皆さんが参加され、一緒に木のお祭りを各地で展開していきましょう。あらゆる立場の方々がその立場の垣根を越えて「木づかい」で新たな絆を結びつけていきましょう。そして、流域に住む住民が協力しあいながら、矢作川の流れと共に魅力ある「木のある暮らし」を進める「矢作川デイズ」を楽しみましょう。

～人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす

森林や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルへの誘い

矢作川ディズ～



森林や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルはとても素敵です。身近な生活空間の中に魅力的な木の製品をたくさん取り入れてみましょう。矢作川の流れを見つめ、自然の息吹に耳を傾けてみましょう。愛知・岐阜・長野の3県を流れる矢作川流域圏を対象としたこの「木づかいガイドライン」には、そんな森

林や木の魅力や、それを育む矢作川流域の自然環境に出会い、流域に暮らすひとり一人が未来にむけて互いに関わり合いながら、豊かで魅力的な地域社会を目指して活動していく（楽しむ）ヒントがたくさん書かれています。

この本を作った私たちは、森林や木の魅力や矢作川の自然環境をたくさんの方々に伝え、森林や木や矢作川の自然環境と触れ合うことで市民の輪が広がり、そのことで地域が元気になっていくことを願っている一市民です。それぞれの様々な立場や経験から、森林や木や矢作川の流れに対する愛情や想いや妄想もたっぶりこめて、矢作川流域に住む方々のために、もっと森林や木を好きになろうよ、もっと地域の木を使ってみようよ、もっと森林や木と共に生きている人達と友達になろうよ、そして地域に住むひとり一人が矢作川の自然環境の素晴らしさを共有し、皆で未来に向けて魅力的な森林・川・海・街になるようにアクションを起こし育てていこうよ、という考え方を基本にして市民の目線からこの本を作りました。



根羽村の子供が魚つかみの先生です



山村の若者たちが楽しい出会い企画を作りました

この本を読むときっと、あなたのライフスタイルが素敵な森林や木の製品に彩られることになるでしょう。訪ねてみたくなる森林やお店、森や木と共に生きている人と直接会って、話してみたくなることでしょう。もっと多くの同じ気持ちを持つ仲間と出会って、魅力的な地域づくりに参加してみたくなるでしょう。そんなことを通して、あなたの心が今よりもっと明るく朗らかにそして大きく広がって、森林や木とそ

れを育む矢作川の流れと共に生きていく素敵なライフスタイルに目覚められることを期待しています。

こんなライフスタイルは、きっと私たちの暮らすこの矢作川の上流から下流に暮らす人々の交流や結びつきを高めることになるでしょう。今まで以上に流域に住む人々への尊敬や感動、そして地域に対する思いやりの心、協力しあうことの大切さに気がつくことになるでしょう。こうしたライフスタイルの基本となるような、地域とそこに暮らす人々と共に生き愛する気持ちが、矢作川の流れを地域の心の絆として、私たちにとって本来あるべき、そして未来に亘って暮らしやすい持続可能な流域を作り出していくグッドスピリットであることに違いありません。



住民によって整備された矢作川古崩水辺公園

私達の故郷の源である矢作川の流れを見つめ、いつまでも美しい森林と川と海に囲まれて人生を楽しみ、愛する家族と共に幸せに暮らすことができるように、今こそ流域に暮らすひとり一人の住民の意識改革から、この豊かな自然環境を持続可能な財産として皆の手で育み、ずっと暮らしていただきたい魅力的な矢作川流域的生活空間「矢作川デイズ」を創り上げていきましょう。

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (市民編案)

| 区 分             |     | 内 容 |        |     |       |
|-----------------|-----|-----|--------|-----|-------|
| さあ~しようのテーマ      |     |     |        |     |       |
| いつ              |     |     |        |     |       |
| どこで<br>(位置図)    |     |     |        |     |       |
| 内 容             |     |     |        |     |       |
| 対象者             |     |     |        |     |       |
| 対応する者           |     |     |        |     |       |
| 面白い点<br>魅力的なところ |     |     |        |     |       |
| 必要な時間           |     |     |        |     |       |
| 必要な金額           |     |     |        |     |       |
| 準備するもの          |     |     |        |     |       |
| イメージ (映像)       |     |     |        |     |       |
| お薦めポイントは        |     |     |        |     |       |
| 参加者からのレビュー      |     |     |        |     |       |
| 対象年齢            | 衝撃度 | 神秘度 | リピーター率 | 安全性 | ステージ表 |
|                 |     |     |        |     |       |

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（市町村編案）

| 区 分        |     | 内 容      |       |       |
|------------|-----|----------|-------|-------|
| さあ~しようのテーマ |     |          |       |       |
| 内 容        |     |          |       |       |
| 対 象 者      |     |          |       |       |
| 対象者の条件     |     |          |       |       |
| 魅力的なところ    |     |          |       |       |
| 必要な時間      |     |          |       |       |
| 必要な金額      |     |          |       |       |
| 準備するもの     |     |          |       |       |
| イメージ（映像）   |     |          |       |       |
| お薦めポイントは   |     |          |       |       |
| 利用者からのレビュー |     |          |       |       |
| 対象年齢       | 衝撃度 | やってよかった度 | 他県普及性 | 市民貢献度 |
|            |     |          |       |       |

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット（業界編案）

| 区 分        |     | 内 容      |       |       |
|------------|-----|----------|-------|-------|
| さあ~しようのテーマ |     |          |       |       |
| 内 容        |     |          |       |       |
| 対 象 者      |     |          |       |       |
| 対象者の条件     |     |          |       |       |
| 魅力的なところ    |     |          |       |       |
| 必要な時間      |     |          |       |       |
| 必要な金額      |     |          |       |       |
| 必要なメンテナンス  |     |          |       |       |
| イメージ（映像）   |     |          |       |       |
| お薦めポイントは   |     |          |       |       |
| 利用者からのレビュー |     |          |       |       |
| 対象年齢       | 衝撃度 | やってよかった度 | 他県普及性 | 市民貢献度 |
|            |     |          |       |       |

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (研究者編案)

| 区 分         |     | 内 容   |       |     |
|-------------|-----|-------|-------|-----|
| さあ~しようのテーマ  |     |       |       |     |
| 内 容         |     |       |       |     |
| 対 象 者       |     |       |       |     |
| 研究の魅力的なところ  |     |       |       |     |
| 必要な時間       |     |       |       |     |
| 事 業 費       |     |       |       |     |
| イメージ (映像)   |     |       |       |     |
| 研究のお薦めポイントは |     |       |       |     |
| 研究者からのレビュー  |     |       |       |     |
| 市民貢献度       | 衝撃度 | おすすめ度 | 他県普及性 | 発展性 |
|             |     |       |       |     |

木づかいガイドライン 市民編A (案)

| NO | 内 容   | 提案者           | モニタ<br>ー   | 場所                            |
|----|---|---------------|------------|-------------------------------|
| 1  | 弓矢づくりにチャレンジしよう  | ネバリン          | 小学生        | 根羽                            |
| 2  | 自分の好きな木のペンダントを作ってみよう  | ネバリン          | 小学生        | 根羽                            |
| 3  | 自分でマイお箸を作ってみよう  | ネバリン          | 小学生        | 根羽                            |
| 4  | 自分のお家の木の表札づくりチャレンジしてみよう   | ネバリン          | 小学生        | 根羽                            |
| 5  | 自分の好きな板をピカピカに磨いて自分だけの宝物にしてみよう                                       | 根羽小           | 大人         | 根羽                            |
| 6  | 自分で薪を作ってドラム缶風呂を沸かし湯につかろう  | ネバリン          | 小学生        | 根羽                            |
| 7  | 木の葉っぱで部屋の匂いをよくしてみよう   | 根羽小           | 小学生        | マイルーム                         |
| 8  | 木のカルタ取りにチャレンジしよう  | ネバリン          | 小学生        | 原っぱ                           |
| 9  | 自分のマイツリーを見つけて名前をつけよう  | 丹羽            | ファミ        | 恵那                            |
| 10 | いよいよ自分で森づくりにチャレンジしよう (サクラ山・花の山)                                     | 伐採者秀美         | 新婚         | 根羽                            |
| 11 | 木の幹 (マイツリー) にハンモック (どこでもマイウッドデッキも) を吊るして涼しく昼寝してみよう・山の中のコーヒータイムを楽しもう | 丹羽・ハンモック 2000 | ファミ        | 恵那                            |
| 12 | ツリーハウスに遊びに行こう   | 豊中建設          | ファミ        | 根羽檜原                          |
| 13 | 自分だけの露天風呂と足湯を手に入れよう   | ネバリン          | 女子         | 根羽檜原                          |
| 14 | 自分のお風呂に木を浮かべて香りを楽しもう  | 根羽小           | 女子         | お風呂                           |
| 15 | 日本の代表 50 種の樹木を覚えよう (葉の標本づくりにチャレンジ)                                  | 豊田森組          | 大学生        | 豊田                            |
| 16 | 自然の生き物観察場所の看板を立てよう  | 豊田森組          | 小学生        | 豊田                            |
| 17 | 日本人なら木のお風呂のある温泉につかろう (中房温泉)   | 中房温泉<br>沖・松井  | 熟年・<br>青年  | 安曇野                           |
| 18 | チェーンソーアートを学ぼう   | ネバリン          | 青年         | 根羽                            |
| 19 | 色々な木のおもちゃづくりや木工事にチャレンジしよう   | ネバリン          | 父と子        | 根羽                            |
| 20 | きれいな川で遊ぼう   | JTN           | 小学生        | 根羽                            |
| 21 | 自分だけの滝に道を開けてマイナスイオンを浴びよう  | こもれび          | 女子         | 根羽                            |
| 22 | 木のある公園のウッドデッキで読書しよう (ブックレビューもつくろう)                                  | ネバリン          | 読書人        | 安城                            |
| 23 | 木と森のある素晴らしい大学に遊びに行こう (信州大学農学部ゆりのき)                                  | 信・名大生         | 高校生        | 信大・名大                         |
| 24 | 筏 (ボート) で川下りにチャレンジしてみよう   | 筏隊・アル         | 中学生        | 岡崎・飯田                         |
| 25 | 木のお店案内ブックをつくろう・木のアンテナショップに遊びに行こう                                    | 沖・松井          | お仲間        | 流域内                           |
| 26 | スギダラチームの輪を広げて全生活空間をスギダラけにしよう  | 若杉・<br>丹羽・今村  | 木の人        | 豊田駅・トヨタ<br>自・アイシング<br>ルーフ・安城市 |
| 27 | 夜空を見上げ星と森の声聴こう  | 星と森の人         | 小学生        | 根羽森沢                          |
| 28 | 木の科学実験で木を良く知ろう・木を使おう・木を楽しもう<br>輪っぱ弁当箱づくりにチャレンジしよう                   | 根羽小           | 小学生<br>ファミ | エコフルタウン<br>根羽                 |



|    |                                 |       |     |       |
|----|---------------------------------|-------|-----|-------|
| 29 | 自分達の力で山の木を搬出して地域通貨を手に入れよう       | 南木    | 山親父 | 根羽・豊田 |
| 30 | 自分達の力で豊田から根羽まで縦走路を整備して休憩小屋を建てよう | 山岳会・店 | 豊田隊 | 根羽・豊田 |
| 31 | 自分で取り組んだ森の健康診断を活用しよう            | 矢作川研  | 豊田人 | 豊田    |
| 33 | 木の小屋においてよ（中村好文さんと連携）            | 中村好文  | 開拓者 | 遊休農地  |

木づかいガイドライン 県・市町村編B（案）

| NO | 内 容                                  | 提案者               | モニター  | 場所        |
|----|--------------------------------------|-------------------|-------|-----------|
| 1  | 山主森林経営講座に参加して自分の山を管理の仕方を学ぼう          | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 2  | 森林自然観察リーダー入門講座に参加して自然観察の基本を学ぼう       | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 3  | 間伐ボランティア初級講座に参加してチェーンソーによる間伐を学ぼう     | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 4  | 山主自力間伐講座に参加してチェーンソーを使って自分の山を間伐しよう    | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 5  | セミプロ林業作業員養成講座に参加して林業就業者を目指そう         | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 6  | 森林セミナーに参加して色々な森林を歩きながら森林管理を学ぼう       | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 7  | 矢作川源流の森ウォーキングに参加して源流域の動植物を観察しよう      | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 8  | 夏休み昆虫観察に参加して森の生き物の生活や不思議さを体験しよう      | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 9  | 初めての間伐体験に参加して簡単にできる間伐を学ぼう            | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 10 | 森林調査いろいろ学習会に参加して植生・林分・土壌調査の基本を学ぼう    | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 11 | 「木づかい」いろいろ発見に参加して原木きのこの菌打ちを体験しよう     | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 12 | 森林の草花調べに参加して高原・山地・丘陵の草花を学ぼう          | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 13 | 間伐してベンチの製作まで全工程を自分達で行い、公共施設に寄付しよう    | 豊田森組              | 豊田人   | 豊田        |
| 14 | 様々な山の助成金制度を活用して自分の山づくりに取り組もう         | 各森組               | 森林所有者 | 豊田他       |
| 15 | 様々な木の家づくりの助成金制度を活用して地元の木で家を建てよう      | 各県                | お施主   | 各県        |
| 16 | 地元の木を使った住宅見学会に参加して地元の木で家を建てよう        | 各県・<br>工務店        | お施主候補 | 各県        |
| 17 | 木造公共施設を訪ねて木の使い方を参考にしよう               | 豊田・<br>根羽・工<br>務店 | 市町村   | 豊田・<br>根羽 |
| 18 | 各地で取り組まれている間伐材利用事例を参考に矢作川流域材を活用しよう   | 各県                | 市町村   |           |
| 19 | 根羽スギの家モデル住宅に体験宿泊して木の家を楽しもう           | 根羽村               | お施主候補 | 根羽        |
| 20 | 長野県地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう      | ネバリン              | 各NPO  | 根羽        |
| 21 | 根羽村地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう      | 根羽村               | 村民    | 根羽        |
| 22 | 根羽スギ柱材50本無償提供事業を使って有利に根羽スギ住宅を建てよう    | 根羽                | お施主   | 根羽        |
| 23 | 市町村有林を使って新しい森づくりにチャレンジしよう（伐採・造林一貫施業） | ネバリン              | 森林所有者 | 根羽        |
| 24 | 市町村有林を使って子供たちに間伐を教えよう                | 各森組               | 小中学生  | 全市町村      |

|    |   |      |       |       |
|----|---|------|-------|-------|
| 25 | 皆で憩いの森の木道・木橋づくりにチャレンジしよう                            | ネバリン | 市町村   | 根羽    |
| 26 | 都市の中心部に緑の憩いの公園を計画してつくろう（豊田市・番外飯田市）                  | 豊田飯田 | 市町村   | 豊田・飯田 |
| 27 | 長野県 信州型エコ住宅推進事業 50～80万円の助成を利用しよう                    | 長野県  | お施主   | 長野    |
| 28 | 長野県 信州型住宅リフォーム促進事業 20～50万円の助成を利用しよう                 | 長野県  | お施主   | 長野    |
| 29 | 岐阜県 産直住宅建設支援制度 105,000円相当の木材支給を利用しよう                | 岐阜県  | お施主候補 | 岐阜    |
| 30 | 岐阜県 ぎふの木で家づくり支援事業 20万円の助成を利用しよう                     | 岐阜県  | お施主候補 | 岐阜    |
| 31 | 岐阜県 ぎふの木で内装木質化支援事業 10万円の助成を利用しよう                    | 岐阜県  | お施主候補 | 岐阜    |
| 32 | 岐阜県 ぎふの木で家づくりローン支援制度 優遇金利による支援を利用しよう                | 岐阜県  | お施主候補 | 岐阜    |
| 33 | 愛知県 あいち認証材利用促進事業 構造材・造作材等 8,000円/m <sup>3</sup> の助成 | 愛知県  | お施主候補 | 岐阜    |
| 34 | 材料施工分離発注方式で適正な木材製品価格で計画的に建築材料を入手しよう                 | 豊田市  | 各市町村  | 豊田    |

木づかいガイドライン 業界編C（案）

| NO | 内 容  | 提案者   | モニター         | 場所    |
|----|--|-------|--------------|-------|
| 1  | 君も人生の方針として自然科学や農林業を選択しよう                       | ネバリン  | 中・高校生        | 根羽    |
| 2  | 君も、自分が主役になれるクリエイティブ産業・農林業の担い手になって地域を元気にしよう     | ネバリン  | 信大・名大・岐阜女子大他 | 根羽    |
| 3  | 君も夢と希望あふれる地元の森林組合職員になって、豊かな自然の中で森づくりと木づかいを楽しもう | ネバリン  | 山の人          | 根羽    |
| 4  | 森づくりの達人（森の民）になるために様々な技能を身につけよう                 | 各森組   | 山の人          | 全流域   |
| 5  | 森林簿と施業図を使って自分の山を覚えよう                           | 豊田森組  | 森林所有者        | 豊田    |
| 6  | 自分の山づくりのプランを建ててみよう（オーダーメイドの山づくり）               | ネバリン  | 秀美           | 根羽    |
| 7  | 様々な木材の搬出方法を見学しよう                               | 各森組   | 山の人          | 全流域   |
| 8  | 山の技能作業手順書をマスターしよう                              | ネバリン  | 山の人          | 根羽    |
| 9  | 自分の山の木がいくらになるか森林施業プランを提出してもらおう                 | 根羽・恵南 | 山の人          | 根羽・恵那 |
| 10 | 自然を楽しむ様々なグッズを手に入れて自然の中に飛び出そう                   | 洲崎    | 女子           | 豊田    |
| 11 | 国産材の家づくりに実績のある工務店・建築士さんに会いにいこう                 | お施主   | お施主候補        | 全流域   |
| 12 | 机やイス・家具など一生使える木製品の注文をしよう                       | 阿部建設  | ファミ          | 根羽    |
| 13 | 一生使える机やイス・家具など木製品を家族で製作してみよう                   | 阿部建設  | ファミ          | 根羽    |
| 14 | 魅力ある国産材製品のカタログを入手して木のある暮らしをはじめよう               | 販路開拓  | ファミ          | 長野    |
| 15 | 森づくりと木づかいに取り組む、知って得して面白い魅力的な方のお話を聞き            | 事例集   | 市民           | 全流域   |

|    |                                   |      |       |     |
|----|-----------------------------------|------|-------|-----|
|    | にいこう                              |      |       |     |
| 16 | 製材工場の端材を使って小屋づくりをしよう              | ネバリン | 山の人   | 根羽  |
| 17 | 住宅建築フェアを見に行こう                     | ネバリン | お施主候補 | 開催地 |
| 18 | 東京おもちゃ美術館を見学し児童向け木のおもちゃを研究しよう     | ネバリン | 保育園   | 東京  |
| 19 | ナイス企画 需要創造型イベント・体感ツアー・木の感謝祭に参加しよう | ナイス  | 市民    | 豊田  |
| 20 | ナイス企画 ナイスパワーホーム豊田プレミアムのコンセプトを学ぼう  | ナイス  | 市民    | 豊田  |
| 21 | 木曽川流域材の家づくりのシステムを学ぼう              | ナイス  | 市町村   | 豊田  |
| 22 | オークビレッジ木の時間工作にチャレンジしよう            | ネバリン | 父と子   | 根羽  |
| 23 | 木の工作に必要な広葉樹を育成しよう                 | ネバリン | 山の人   | 全流域 |
| 24 | スギダラどこでもシリーズで世の中をスギダラけにしよう        | ネバリン | 市民    | 全流域 |

木づかいガイドライン 研究編D (案)

| NO | 内 容  | 提案者  | モニター  | 場所 |
|----|--|------|-------|----|
| 1  | 地元の大学と地域連携協定を締結して、山村・里山の課題解決に向けて学生と一緒にチャレンジしよう | 信大   | 市町村   | 根羽 |
| 2  | 持続可能な地域づくりに向けて里山の課題を市民から集めよう                   | 信大   | 市町村   | 根羽 |
| 3  | 次世代に向けた森づくりと低コスト造林を確立しよう                       | 信大   | 山の人   | 根羽 |
| 4  | スギ人工林の植物種多様性を評価し、生物多様性保全に留意した森づくりに取り組みよう       | 信大   | 森林所有者 | 根羽 |
| 5  | 伐採後に発生するスギ針葉から精油を抽出して商品化に取り組みよう                | 信大   | 女子    | 根羽 |
| 6  | 農林一体化事業を支援する地理情報の可視化手法を開発しよう                   | 信大   | 市町村   | 根羽 |
| 7  | 山村の聞き書き調査を行い、山村文化を発掘し継承しよう                     | 実践者  | 対象者   | 根羽 |
| 8  | 雪害被害林の今後の施業指針を確立しよう                            | 信大   | 市町村   | 根羽 |
| 9  | 集落周辺の森林について保残木マーク施業等景観林施業を確立しよう                | ネバリン | 集落    | 根羽 |
| 10 | スギ重ね梁の実用化を実現させよう                               | ネバリン | 工務店   | 根羽 |

(様式第1号) (第5関係)

信州の木活用モデル地域支援事業実施計画書

28根振第 号

平成28年5月9日

林 務 部 長 殿

長野県下伊那郡根羽村1762

根羽村

村長 大久保 憲一

平成28年度において、信州の木活用モデル地域支援事業を実施したいので信州の木活用モデル地域支援事業実施要領第5第1項の規定により、事業実施計画書を下記のとおり提出します。

記

- 1 信州の木活用モデル地域支援事業実施計画書  
別紙事業計画書のとおり
- 2 その他添付書類  
事業主体の規約及び構成員等がわかる書類  
事業の公益性、確実性、有効性、発展性、地域の主体性、情報発信性 等  
について、それぞれ優位性を記した書類

(別紙)

## 事業計画書

### 1 事業の目的

根羽村では長野県内をはじめとして、矢作川流域市町村等を対象に村内の森林資源を活用した林産業により、木造住宅の建築部材や「身近に木のある豊かな暮らし」をテーマに、様々な木のアイテムを提供する等の木づかい推進を進めているところである。

今年度は、根羽スギ等を活用した「移動式林業教育ジオラマ」、「流域・上下流連携交流人口拡大促進自転車ラック」及び「私の流域物語木札」をモデル的に製作する。

「移動式林業教育ジオラマ」とは、昨年度から実施している「木づかいライブスギダラキャラバン」という木のアイテムの展示と木工作体験イベントに新たに林業のイメージを持ってもらうために設置する「根羽スギを使用した林業の情景立体模型」であり、長野県及び愛知県等の児童やそのファミリーを対象にして、子どもどものときから身近な森林で行われている森林整備や林業の仕組みを可動式の林業情景模型によって伝え、「南信州と矢作川流域で行われている林業」に興味関心を持ってもらうものである。

「流域・上下流連携交流人口拡大促進自転車ラック」とは、豊田市の自転車愛好家グループ「しもやま再来るプロジェクト」が考案したロードレーサー用「自転車ラック」のことで、これを根羽村森林組合との共同企画で愛知県内や南信州の店頭において普及させることにより、間伐材の有効活用PRと、最近人気が高まっているロードレーサーによる長距離ツーリングの駐輪に対応するものである。このことによって、高価なロードレーサーを安心してライダーの目につくところに駐輪させることができると共に、ライダー受け入れ店の意思表示による地域店舗の収入アップや、汗臭いロードレーサーライダーに対しては、安心して立ち寄れるお店という安心感を与えることができる。こうした「自転車ラック」を置いたお店を組織化して、矢作川流域連携及び上下流連携による交流人口を拡大し、県境を越えた民間の一体的な地域連携により地域経済発展のきっかけとしたい。

「私の流域物語木札」とは、上記の「自転車ラック」を設置したお店に立ち寄っていただいた際に、原則的にその郷土樹種の木の札を渡すもので、この木札をたくさん集めてもらうことにより、様々な各地域の魅力を見つけてもらうものである。できる限り里山の様々な樹種を用意して、そのお店固有の木札を用意することによって、ロードレーサーライダーは木札コレクターとして楽しみながら、矢作川流域や南信州の魅力を楽しむことができる。将来的に「しもやま再来るプ

プロジェクト」と根羽村森林組合等が協働して、そうして木札を集めていただいた方々との交流イベントを開催して、各人が魅せられた木やその地域の特色、そしてライダーによる「私の流域物語」を各人で発表していただきながら、継続的に交流人口の輪を広げたい。

また併せて、こうした交流イベントの際に、昨年度当事業で取り組んだ、スケール長を矢作川河川延長の縮小版を基本とし、流域内の樹種を組み木とした「流域をひとつにする矢作川流域ものさし」を製作体験していただき、流域内の多様な森林資源についての理解を高めたい。

## 2 事業計画

(単位：千円)

| 事業種目            | 事業内容                                    | 事業費   | 事業費の内訳 |      |     | 工期                |                   |
|-----------------|---|-------|--------|------|-----|-------------------|-------------------|
|                 |   |       | 県費補助   | 自己資金 | その他 | 着手<br>(予定)<br>年月日 | 完了<br>(予定)<br>年月日 |
| 県産材・道の駅等販売促進モデル | 移動式林業教育ジオラマと流域・上下流連携交流人口拡大促進自転車ラック等製作事業 | 3,300 | 2,500  | 800  |     | 28.8.1            | 29.3.29           |
|                 |   | 3,300 | 2,500  | 800  |     |                   |                   |

(注) 1 事業種目の欄は、事業実施要領第4に規定する項目から選択し記載すること。

2 事業内容の欄は、活動の内容がわかるように記載すること。(添付資料でも可)

## 3 収支予算

(収入)

(単位：千円)

| 区分   | 予算    | (決算) | (差引増減) | 備考 |
|------|-------|------|--------|----|
| 県費補助 | 2,500 |      |        |    |
| 自己資金 | 800   |      |        |    |
| その他  |       |      |        |    |
| 計    | 3,300 |      |        |    |

(支出)

(単位：千円)

| 予算科目 | 予算    | (決算) | (差引増減) | 経費の内訳  |
|------|-------|------|--------|--------|
| 賃金   | 300   |      |        | 別紙のとおり |
| 製作料  | 3,000 |      |        | "      |
| 計    | 3,300 |      |        |        |

(注) 1 予算科目の欄は事業実施要領第6に規定する補助対象経費を記載すること。

4 事業完了（予定）年月日

平成29年3月29日

|                     |  |
|---------------------|--|
| 事業名                 | 林業教育ジオラマと自転車ラック等製作事業   |
| 事業種目<br>(いずれかにチェック) | <input type="checkbox"/> 地域分散型木質バイオマス等利用促進モデル<br><input type="checkbox"/> 木の香り漂う街並みづくりモデル<br><input checked="" type="checkbox"/> 県産材・道の駅等販売促進モデル   |
| 実施箇所                | 長野県・愛知県でのイベント展示及び各店舗における設置・販売  |
| 事業の詳細               | <p><b>1 事業目的</b><br/>(事業を行う背景・課題・必要性を記載すること)<br/>背景・課題</p> <p>根羽村では、根羽村森林組合から根羽スギ等の住宅建築部材を年間約130棟程度、工務店等へ販売しているところである。今後、さらに根羽村の森林資源を活用した木づかい推進を図るためには、建築部材以外に県民のライフスタイルの中で活用される木製品の開発や、長野県の自然の魅力の中で木製品と楽しく過ごせる時間を意識した、観光客等に喜んで利用していただけるインパクトのある木製品を提供していく必要がある。</p> <p>また今後、根羽スギを取り扱っていただける工務店を確保していくためには、根羽村が県内や愛知県等の保育園・小学校を対象とした木育活動を推進し、木の楽しさや魅力を特に子どもやそのファミリー層を対象として重点的に伝え、木のファンとして育成していく必要がある。また、里山に存在する身近な美しい景観等の小さな魅力を伝え、交流人口の拡大を図るためには、すぐに通過してしまう車での旅よりも、最近増加しているロードレーサーライダーによる主体的なツーリングにスポットを当てて、新たな展開を試みる事が望ましい。</p> <p>このため、「木づかいライブ スギダラキャラバン」で現在不足している林業PRのために「移動式林業教育ジオラマ」、愛知県、長野県との流域・上下流連携による交流人口の拡大を目指した「自転車ラック」、それをさらに促進する「私の流域物語木札」を製作したい。</p> <p><b>2 事業内容</b><br/>(実施の時期、場所、規模、方法等について具体的に記載すること)</p> <p>根羽村では「身近に木のある豊かな暮らし」を推進するため、根羽村、根羽村森林組合、根羽村商工会、シルバー人材、根羽村小学校、NPO「ねばりん」等を構成員とする「ネバリン特殊木工部隊 スギダラ」を組織し、全国スギダラケ倶楽部矢作川流域支部を発足させ、県民のライフスタイルの中で活用され、かつ観光客</p> |



等に喜んで利用していただけるインパクトのある木製品を開発してきた。

今回「林業教育ジオラマ」、「自転車ラック」、「木札」を製作し、イベント等による巡回展示を行う他、オーダーに応じて製作販売を行う。

① 「移動式林業教育ジオラマ」 1セット製作・展示・販売

時期:平成28年8月1日～3月29日

展示:根羽村ネバーランド(1セットのため巡回設置)

根羽村保育園・小学校

豊田市浄水北小学校

西尾市八つ面小学校

安城市デンパーク

長野県・愛知県内の各道の駅・託児所・公園

長野県・愛知県「木づかいライブ スギダラキャラバン」

販売:オーダーに応じて販売する

② 「自転車ラック」 80セット製作・設置・販売

時期:平成28年8月1日～3月29日

設置:南信州をはじめとする長野県及び矢作川流域を中心とする愛知県の各店舗80店。なお、豊田市の「しもやま再来るプロジェクト」メンバーと協働して、これらの設置店を開拓する。

販売:オーダーに応じて販売する

③ 「木札」 5,000枚製作・設置・販売

時期:平成28年8月1日～3月29日

設置:南信州をはじめとする長野県及び矢作川流域を中心とする愛知県の各店舗80店に各50枚ずつを「自転車ラック」と共に配布し、ロードレーサーライダー等に地域情報と共にお店から手渡しする。これ以降の木札補充は原則的に各店舗に依頼する。

販売:オーダーに応じて販売する

### 3 事業の優位性

(以下の各項目について具体的に記載すること)

(1) 公益性(地域の実情や住民ニーズへの対応等について記載)

根羽村では、県民のライフスタイルの中で活用され、かつ観光客等に喜んで利用していただけるインパクトのある木製品を開発するために、根羽村、根羽村森林組合、根羽村商工会、シルバー人材、根羽村小学校、矢作川流域圏懇談会等が連携して「根羽村木のある暮らし講座実行委員会」(核心的で技能的な木工作員チームは「ネバリン特殊木工部隊 スギダラ」と言う)

を設立し、「根羽村木のある暮らし講座」を開設している。対象者は広く子供やファミリー等一般県民、観光客である。対象者・モニターの声を聞きながら、木製品の開発を継続して進める。

「移動式林業教育ジオラマ」は、かねてより木育に力を入れている根羽村であるが、直接木のアイテムによって林業のイメージを伝えるアイテムがないことから、今回製作に取り組むものである。また、現在実施している「木づかいライブ スギダラキャラバン」においては、木の楽しさや魅力を伝えられるものの、林業については地域産業としてのイメージが伝えられていないため、特に青少年等にその独特な動きをする林業機械の模型を、山地等の情景を含めてジオラマ化して製作することによって再現し、理解を高めようとするものである。

「自転車ラック」については、豊田市の「しもやま再来プロジェクト」のメンバーが、ロードレーサーライダーが頻繁にしもやまの里山を訪れていることから、彼らが再びしもやまの里山を訪れてもらうことを願って、地元間伐材を利用してラックを製作されたものである。これを根羽村森林組合が安城市に紹介したところ、安城市からこの自転車ラックについての問い合わせがあり、今後の展開に期待したい話があったことから、今回の協働プロジェクトを実施する運びとなった。このような地域的な実情と県民のホビータ的なニーズを活かして今回のプロジェクトに結びつけたい。

「木札」については、「自転車ラック」と併せて手渡しすることにより、コレクター商品として地域への再訪や様々な地域への来訪を促進することができるため、「自転車ラック」の上手な配置による地域の活性化を図りたい。

## (2) 確実性・有効性（確実性の裏付け・事業効果等について記載）

- ・「移動式林業教育ジオラマ」については、木のアイテムの中でも類似性がなく、木育アイテム的にも取り上げられてこなかったため、このようなアイテムの必要性は高いと考えられる。また、保育園、小学生児童を対象とした木のおもちゃはあるものの、教育的な視点からのアイテムは少なく、ある程度の展示的な需要はあると考えられる。
- ・「自転車ラック」については、国道153号線やその周辺の沿線に実際に多くのロードレーサーライダーを見かける機会が増えていること、また、そうした状況でありながら、高価なロードレーサーを駐輪できる施設がほとんどないことなど、「自転車ラック」設置の必要性は高い。ライダーの立場においても、汗臭く独特なスタイルであることから、お店への入店に対する遠慮があり、こうした「自転車ラック」の設置は入店への精神的ハードルを下げるためありがたいもの、と考えられる。
- ・飯田市においては全日本のロードレースである「ジャパンツアー南信州ステージ」が開催されており、ロードレーサーライダー数が多く、こうした「自転車ラック」の需要は高いと考えられる。
- ・「根羽村木のある暮らし講座」開設に関して、長野県及び矢作川下流

域の森林・木のファンから、木材を供給できる林業地域での木工作体験や材料調達の要望が高い。

- ・「木札」については、こうした取り組みを地域が一体となって実施しているという、地域的なセンスを感じてもらうことが、地域へのリピート率を高めることに結びつくと考えられる。
- ・根羽村森林組合をはじめ「ネバリン特殊木工部隊 スギダラ」の構成員のやる気・団結力は強く高い。

(3) 新規性（新たな視点や仕組み等について記載）

- ・「林業教育ジオラマ」は類似品がないため極めてオリジナル性が高く、また、林業立村を標榜する根羽村が製作するところに意義があり、林業機械の独特の動きを根羽スギの模型によって再現することにより、子供やファミリーを惹きつけたい。また、現在実施している「木づかいライブスギダラキャラバン」における「動く木のおもちゃ」等の展示と併せて、普段目にするのがなくイメージを持つことの難しい林業という地域産業の理解について、地元材を使用し当事者自らが模型によって再現して伝えようとする試みに新規性があると考えられる。
- ・「自転車ラック」については、間伐材を活用し、かつ各店舗にそれを共通認識のもとに設置し、また、「木札」を手渡すことにより、里山の樹種の多様性への理解や、「木札」コレクターとして店舗を回る目的性を発生させ、このことによって地域経済の活性化へ結びつけようとしたことに新規性があると考えられる。

(4) 継続性・発展性（将来計画等について記載）

- ・「林業教育ジオラマ」については、県内をはじめ、愛知県等への設置個所の拡大を進め、同じ流域で取り組まれている林業という地域産業の理解を高めるため、今後下流域等への小学校等での展示を図りたい。
- ・「自転車ラック」については、今後各店舗等の反応が良ければ、逐次設置店舗を拡大していきたい。
- ・現在、村と契約している豊田市のフリーペーパー誌「耕ライフ」にこうしたアイテム及び取り組みについて掲載を依頼し、展示や販売促進を図る。

(5) 地域の主体性（地域住民参画の仕組み等について記載）

根羽村は森林組合を中心にトータル林業（一次・二次・三次産業、全世帯森林組合員、端材・オガ粉・樹皮の木質エネルギー利用等）を実践しているが、さらに大工・小学生を含む村民参加により木づかい推進活動「スギダラ」（街中等、いたるところをスギだらけにする活動）を進める。

|     |      |            |
|-----|------|------------|
| 根羽小 | 木の授業 | 7人×5回=35人  |
| 根羽中 | 山の授業 | 27人×3回=81人 |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>森林組合(スギダラキャラバン) 3人×20回=60人</p> <p>木の駅プロジェクト 30人×4回=120人</p> <p>木のある暮らし講座 15人×4回=60人</p> <p>矢作川流域圏懇談会 2人×8回=16人</p> <p>(6) 情報発信性(県民の関心の高さ、事業自体のインパクトの強さ、事業の広報手段等について具体的に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工品には「根羽村森林組合」及び「しもやま再来るプロジェクト」の焼印等を刻印する</li> <li>・森林組合ホームページから定期的に情報発信をする</li> <li>・愛知県豊田市フリーペーパー「耕ライフ」に根羽村の木づかい推進の活動として年4回掲載(17,000部発行)</li> <li>・アイシングループとの交流事業で紹介(500人参加)</li> <li>・SBCラジオの定番森林組合紹介番組によりラジオトークングで紹介</li> <li>・各道の駅等に設置PR</li> <li>・年8回程度開催される矢作川流域圏懇談会、山、川、海部会で紹介</li> <li>・「木づかいライブ スギダラキャラバン」を年20回開催しPRを図る</li> <li>・長野県・愛知県における各サイクルショップと木づかい推進の連携を図る</li> </ul> |
|--|---|

※必要に応じて欄を広げ、数ページにわたり記載してください。

※必要に応じて、内容や金額の根拠となる資料を添付してください。

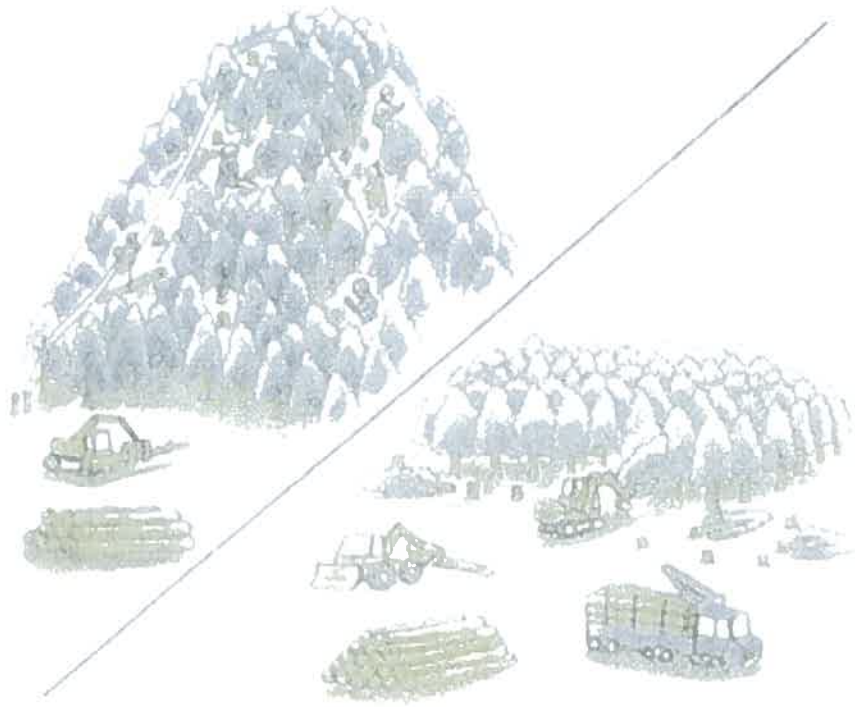
(別紙)

平成28年度 根羽村 信州の木活用モデル地域支援事業 見積内訳表

単位:千円

| 区分                             | 項目  | 品目                          | 金額    | 内訳  | 対象者           |
|--------------------------------|-----|-----------------------------|-------|---|---------------|
| 移動式林業教育ジオラマ                    | 製作料 | 移動式林業教育ジオラマ                 | 800   | 20千円/日×2人×10日=400千円<br>100千円/㎡×4㎡=400千円<br>(移動式のため軽トラの荷台に入る大きさ) | 根羽村森林組合       |
| 流域・上下流連携<br>交流人口拡大促進<br>自転車ラック | 賃金  | 製作指導及び自転車ラック・<br>木札設置店開拓協力費 | 300   | 15千円/日×2人×10日   | しもやま再来るプロジェクト |
|                                | 製作料 | 自転車ラック                      | 1,200 | 15,000円/台×80台   | 根羽村森林組合       |
| 私の流域物語木札                       | 製作料 | 木札                          | 1,000 | 200円/枚×5,000枚   |               |
| 計                              |     |                             | 3,300 |   |               |

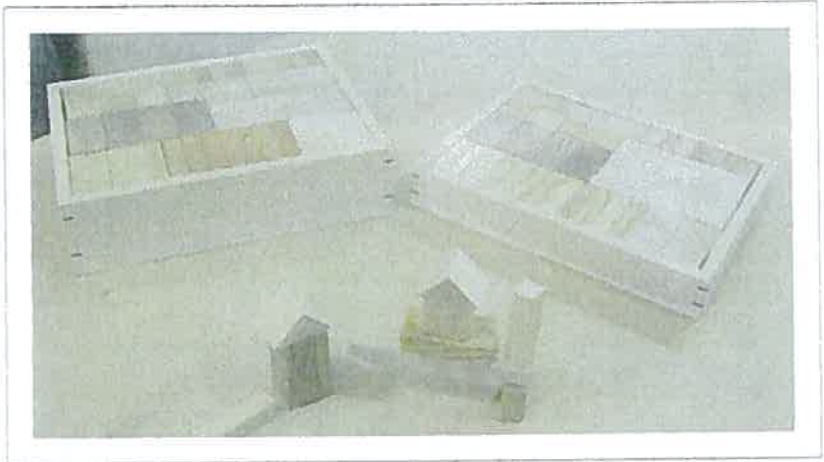
# 林業教育ジオラマのイメージ



# 自転車ラック試作品

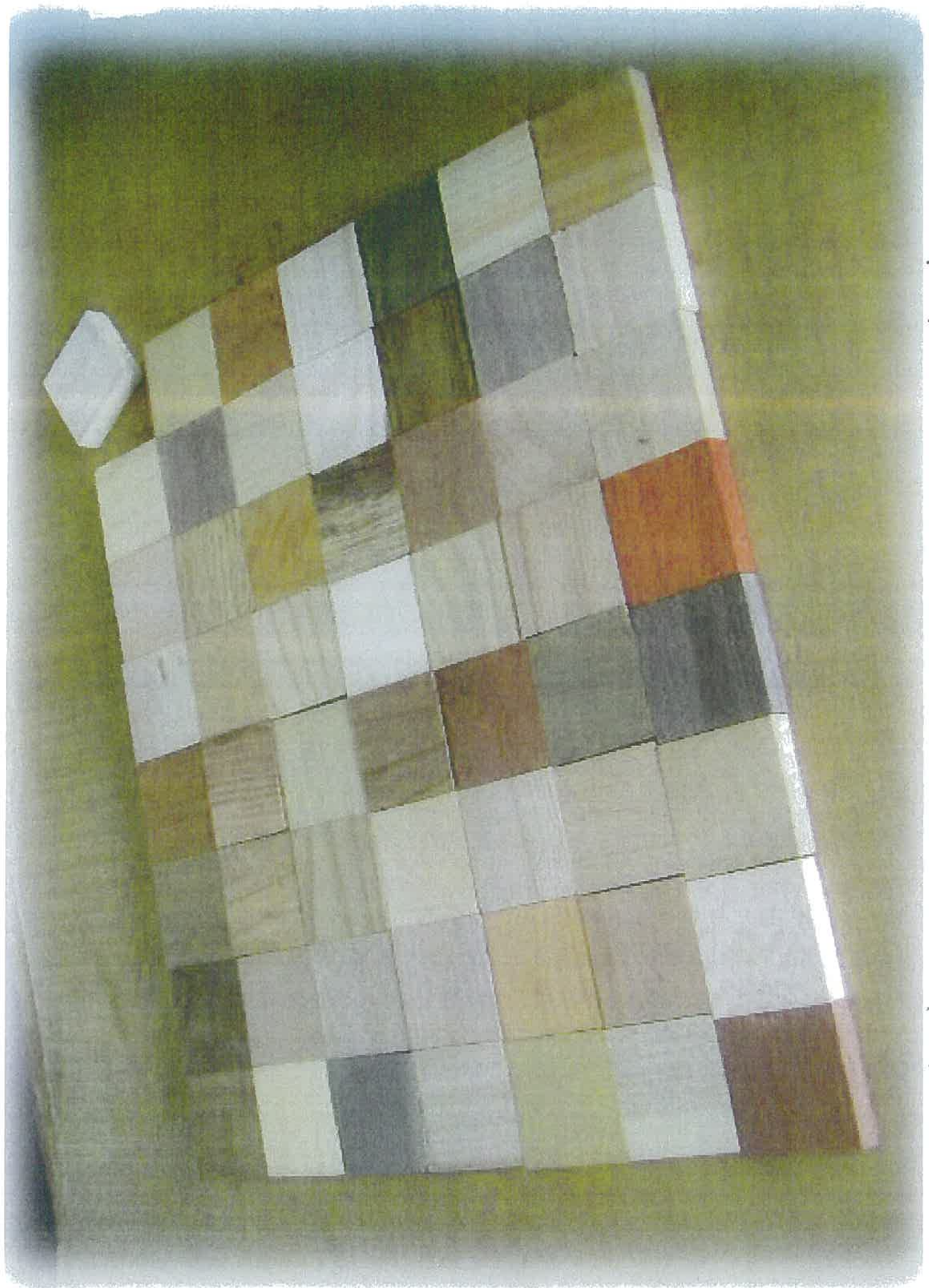


# 木札のイメージ









# しもやま再来るプロジェクト

調査団体名 : しもやま再来る(サイクル)プロジェクト  
 設立年 : 2012年(6月)  
 団体URL : <https://www.facebook.com/shimokuru>  
 活動拠点 : 手づくり工房山遊里  
 取材日 : 2015年12月05日

団体代表者名 : 木下貴晴  
 対応してくれた人の名前 : 木下貴晴・川合寿佳  
 調査員 : 大森正昭・高橋伸夫  
 レポート作成者 : 高橋伸夫

## 活動内容

下山地区の活性化を目的として主に土日曜日、下山地区在住の主たるメンバー7名で下山地区をサイクリストのパラダイスとすることを目的に活動している。間伐材を利用した自転車ラック(スポーツ自転車の駐輪装置)を地区内の店舗等に設置することを考え、20台作製して店舗に設置してもらった。アンケートで得られたサイクリストやトライアスリートの需要「ごく軽い食事」や「短時間の休憩」等を提供するための「ちよい食べ企画」(おしるこ、おにぎりなどの販売、しもやま茶の試飲提供、冬場は薪ストーブでの暖提供等)を考えて実施中。他に下山地区の周辺で行われている自転車関係の行事へのお手伝い等も実施している。

## キャッチフレーズ

「走りながら考えよう まずは行動」  
 「エコフルタウン豊田市を車と自転車の町に！」

## 会のモットー(何を大切にしているか)

自転車乗りに優しい地域づくりで下山へ再び来ていただくことを目指す。(これが会の名前の由来)

## 設立から現在に至るまで変化したこと

設立当初(2012年6月)は資金面で豊田市「わくわく事業」の補助金を考えていたが、条件が合わず断念。その後香恋の里しもやま観光協会と豊田市法人会の補助金の目処が付き2014年に申請、2015年に豊田森林組合に発注して自転車ラック20台を作製。地域の店舗には実費の半額程度で購入していただき、希望のあった店舗の前に設置していただいた。2015年4月18日他で当プロジェクトの記事が中日新聞に掲載されて、問い合わせなど多くの反響があった。

## 連携している団体・専門家・自治体など

豊田森林組合・香恋の里しもやま観光協会・豊田市法人会・NPO法人チャリンコ活用推進研究会・(株)トライアスロンステーション

## 山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

間伐材を使用した自転車ラックづくり、自転車ラックの設置や「ちよい食べ企画」などの受け入れ態勢を作って下山地区へサイクリストの誘致など、全て根底には地域の活性化・地域興しがある。(他に同地区で実施しているわくわく事業では、竹藪の伐採など景観整備やベンチの設置を実施している)

## 現在直面している課題

最大の問題は活動資金の調達。まだ本格的な事業化まで達していない。  
 その他には自転車文化の振興に対する行政等の関心不足・自転車のルールやマナー違反によるトラブルの発生。

## 今後やってみたいこと

自転車ラックの改良、自転車ラックを豊田市周辺中山間地へ普及させる、充実したサイクリングマップの作成、自転車マナー等の啓発(プロ等を講師に招いて正しい乗り方指導の講習会実施など)、自転車道路の整備および自転車用標識や案内板等を充実するため関係機関への働き掛け。

以上の他にも、地域の気象や道路状況などをリアルタイムの情報としてサイクリストへの提供ができないか、一般的な自転車ラックに使用されている樹脂製部品を木製で作製できないか、トヨタ自動車の新テストコースで自転車イベント(ジョギングやサイクリングイベント等)を実施させてもらえないか、三河湖の周辺に来訪者が楽しめるアート作品(佐久島の「おひるねハウス」のようなもの)の設置ができないかなど、やりたいことはたくさんある。「自転車といえば下山が有名だよね」となることを目指している。

## そのためにはどんな情報・人脈が必要か

矢作川流域圏懇談会も情報・人脈を得る上で力になりそう？

## チームオリジナルの質問

### <質問内容>

山遊里の対岸上流部分が整備されているが、誰が行っているのか？

### <答え>

「しもやま再来るプロジェクト」メンバーも参加している地元団体が豊田市「わくわく事業」の補助金を得て行っている別事業で、地域の景観整備を行っている。伐採した竹をチップにして地面に敷き(舗装効果と雑草防止効果がある)、テーブルやベンチを設置している。

## その他、伝えたいこと

「エコフルタウン豊田市を車と自転車の町に！」を目標に行政(豊田市エコフルタウン)にバックアップしてもらえるような存在になりたい。

## 写真



取材風景



自転車ラック



ちよい食べ企画

●「木づかいライブ・スギダラキャラバン」とは

「木づかいライブ・スギダラキャラバン」は、根羽スギなどの「木づかい」を推進していきたい根羽村森林組合が中心となって、長野県や愛知県内の里山市民グループ・地元工務店・地域の団体等と連携しながら、各地で行われる様々なイベントとジョイントして、表札づくりなどの木工作体験や、どこでも足湯などの色々な「木のある暮らしアイテム」の展示を行うイベントキャラバンです。

このことによって、根羽スギをはじめとする地域の木材を利用した「木のある暮らし」を提案して、森や木づかいのファンを増やしていくと共に、そうした方々が仲良くなることによって、地域に活力を生み出す「元気な人の輪づくり」も目指しています。

ちなみに「スギダラ」とは、スギをはじめとする人工林を利用して、あらゆる生活空間をスギダラケにしよう、という全国展開している活動のことです。根羽村森林組合は、愛知県を流れる矢作川の水源地の村として、平成26年9月に設立された「矢作川流域支部」の事務局となっています。

こうした木づかいが進むことによって森林整備が推進され、また、山村における林業振興による地域の活性化が図られます。皆様ぜひ、スギダラキャラバンに遊びにきてください。

## 28 「木の魅力と楽しさを伝える

木づかいライブ・スギダラキャラバンの実績及び予定」

| NO | イベント名                  | 開催日            | 場所                 | 備考       |
|----|------------------------|----------------|--------------------|----------|
| 1  | 矢作川の源流<br>森の民と根羽村ツアー   | 4/15.16        | 根羽村                | 見学       |
| 2  | おこしものをつくろう             | 4/16           | 豊田市<br>エコット        | 体験       |
| 3  | 野底山森林公園 さくら祭り          | 4/24           | 飯田市<br>野底山森林公園     | 展示       |
| 4  | オールアイシン家族祭り            | 5/29           | 刈谷市<br>アイシン高丘工場    | 体験       |
| 5  | 矢作川流域ものさしをつくろう         | 6/29           | 根羽村                | 体験       |
| 6  | 木のおもちゃで遊ぼう<br>木育キャラバン  | 7/2.3          | 豊田市<br>エコット        | 体験       |
| 7  | アイシン夏の陣                | 7/23           | 根羽村                | 体験       |
| 8  | 安城市デンパーク無料開放デー         | 7/23           | 安城市<br>デンパーク       | 展示       |
| 9  | わくわくネイチャースクール          | 7/25.26        | 根羽村                | 体験       |
| 10 | 南信州木工作体験               | 7/27           | 根羽村                | 体験       |
| 11 | エコネット安城 里山体験           | 8/1            | 根羽村                | 体験       |
| 12 | わくわくネイチャースクール          | 8/3.4          | 根羽村                | 体験       |
| 13 | 矢作川流域ものさしをつくろう         | 8/6            | 根羽村                | 体験       |
| 14 | 輪っばをつくろう<br>動く木のおもちゃ展  | 8/10.11        | 東京都<br>東急ハンズ新宿店    | 体験<br>展示 |
| 15 | うるぎ星の森音楽祭              | 9/4            | 売木村<br>うるぎ星の森キャンプ場 | 体験<br>展示 |
| 16 | 伊賀良小木工作体験              | 9/18           | 飯田市<br>伊賀良小        | 体験       |
| 17 | 信州大学農学部祭               | 9/19           | 南箕輪村<br>信州大学農学部    | 体験<br>展示 |
| 18 | 安城市中部公民館芸能祭り           | 9/25           | 安城市<br>中部公民館       | 体験<br>展示 |
| 19 | 東急ハンズ新宿店<br>20周年記念イベント | 10/4           | 東京都<br>東急ハンズ新宿店    | 体験<br>展示 |
| 20 | メッセナゴヤ 2016            | 10/26.27.28.29 | 名古屋市<br>メッセナゴヤ     | 展示       |
| 21 | 根羽村大杉祭り                | 10/28.29.30    | 根羽村<br>大杉公園        | 体験<br>展示 |
| 22 | アイシン秋の陣                | 11/5           | 根羽村                | 体験       |

|    |               |          |              |          |
|----|---------------|----------|--------------|----------|
| 23 | 安城市明祥公民館祭り    | 11/12.13 | 安城市<br>明祥公民館 | 体験<br>展示 |
| 24 | 飯田合庁木づかい推進フェア | 11/14~18 | 飯田市<br>飯田合庁  | 展示       |
| 25 | 安城市中央図書館イベント  | 1/22     | 安城市<br>中央図書館 | 体験<br>展示 |
| 26 | 南信州間伐材フェア     | 3/12     | 飯田市          | 展示       |

注) 体験とは木のペンダントづくり、表札づくり、輪っばづくり等である。

展示とはどこでもブランコ、どこでもウッドデッキ、どこでもオセロ、根羽物置、動く木のおもちゃ等である。

27.7.25 安城市デンパーク無料開放デー

「動く木のおもちゃと木のある暮らしのアイテム展」

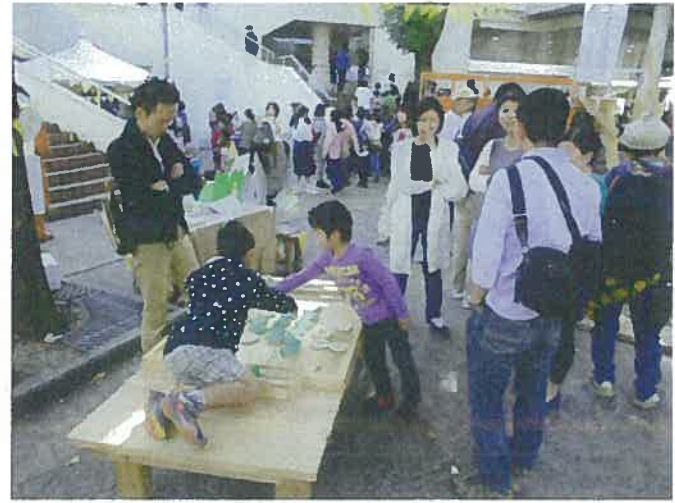




27.11.1~3 豊田市あそべるとよたプロジェクト 豊田市駅前T-フェイス広場前  
「どこでもウッドデッキ」・「どこでもブランコ」・「どこでもオセロ」とガゼボの組み合わせ  
による居心地の良い木の空間づくり」(プレイスメイキング)







27.11.4～7 メッセナゴヤ 2015

「根羽物置」の展示



27.5.17 旧伊那市役所敷地広場

ミツロウキャンドル・ナチュラルコスメ専門店「ワイルドツリー」コラボイベント

「輪っばづくり」体験





27.5.17 愛知県刈谷市「アイシン高丘」  
オールアイシン家族祭り  
「輪っぱづくり」体験





27.7.7 根羽村「しゃくなげ」  
TASKIサミット  
木のある暮らしのアイテム展示





27.9.22 根羽村森林組合  
「矢作川流域ものさし」づくり



27.9.22 根羽村森林組合  
木のアイテムの体験





27.9.21

信州大学農学部

AFC祭

木のペンダントと表札づくり



27.12.19

豊田市エコット

木育ひろば

輪っばづくり

















東京おもちゃ美術館がやってくる

国内外の良質な木のおもちゃで遊んで、  
木とふれあおう！



2016

7/2 ± 3日

10:00-16:00

入場  
無料

# 木育 キャラパ

木のおもちゃで遊ぼう

申込  
不要

in  
eco-**T**icott

おもちゃの国産品  
おもちゃの国産品

300種類の木のおもちゃが大集合!

協力 NPO法人グッド・トイ委員会 / 東京おもちゃ美術館

※小学3年生以下は保護者同伴でご来場ください。  
※来場者多数の場合は、安全のため入場制限や入れ替え制とさせていただきます。  
※駐車場が混み合う恐れがあります。満車の場合は臨時駐車場をご案内します。

主催・会場・問合せ

eco-**T**icott

〒470-1202 豊田市渡刈町大明神39-3 渡刈クリーンセンター内(9:00-17:00) 休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)、12/28~1/4

tel 0565-26-8058 fax 0565-26-8068 mail info@eco-toyota.com

# 木育キャラバン in ecoTエコット



## 木育って？

子どもから大人まで生涯にわたって、木とふれあい、自然に親しみ、環境に関する理解を育む活動です。木を使うことで、森林が適切に管理され、木や森に関する技術文化、伝統が守られることも期待しています。

## 木々ってどうなっているの？

日本の森林は、国土の面積の約66%あり、先進国の中では有数の森林大国です。また、そのうち約40%が人が木を植えた人工林です。しかし、近年、木が使われずに、森が荒れてきています。

## 豊田市の森は？

豊田市の面積の68%が森林で、そのうち57%がスギやヒノキなどの人工林です。豊田市は、2007年に「豊田市100年の森づくり構想」をつくり、積極的に間伐をすすめています。

## どうしてエコットが木育に取り組むの？

木は、大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を出して炭素をためます。1世帯から1年間に排出される二酸化炭素の量は、40年生のスギ約18本と同じくらいといわれています。木育に取り組むことで、地球温暖化について多くの人に考えてもらいたいと思っています。



# 同時開催 木エワークショップ

対象：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

先着順

当日  
受付

### \* じぶんのおはしをつくろう！

かんなを使って木を削ります。（所要時間20分）

7月2日(土) 10:00-12:00 13:00-15:00  
先着 100名 材料費 100円  
一つ

### \* 木のペンダントをつくろう！

根羽林3の板に絵を描きます。（所要時間30分）

7月3日(日) 10:00-12:00 13:00-15:00  
先着 50名 材料費 200円  
一個

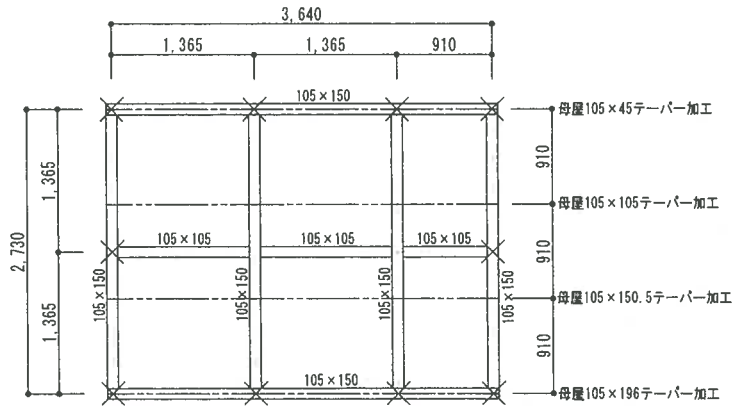
### \* 積み木をつくろう！

みんなでつくった積み木はエコットで使います。のぎりを使って木を切ります。（所要時間20分）

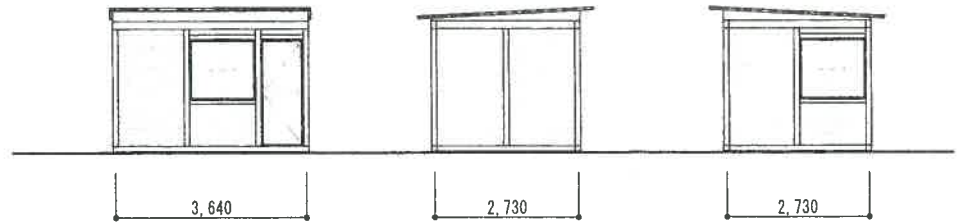
7月2日(土) 7月3日(日) 10:00-12:00、13:00-15:00  
先着 100名 無料

地球温暖化防止のために、お乗り合わせの上、ご来場ください。場内駐車場が満車の場合、隣街駐車場をご案内します。

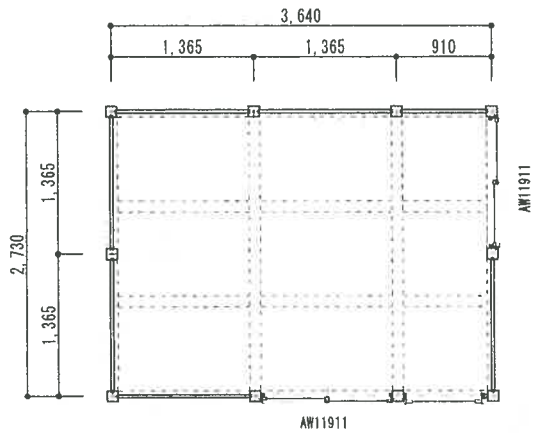




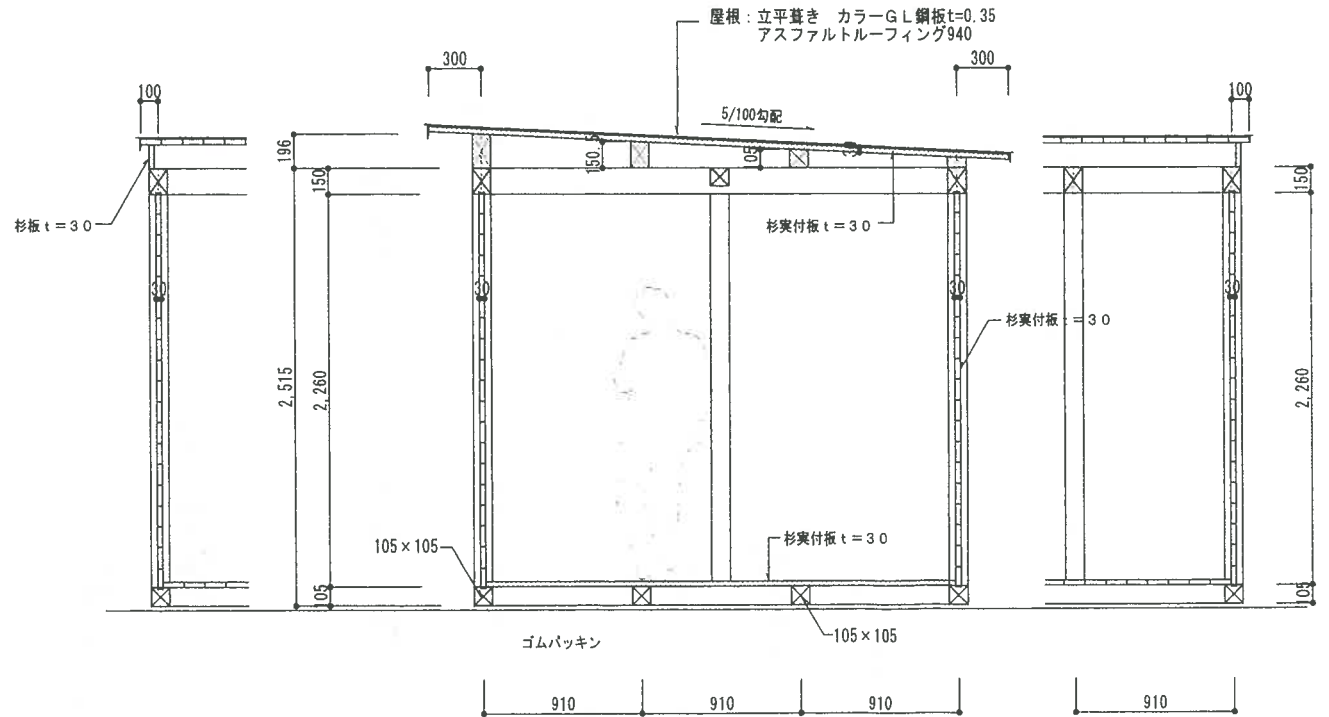
小屋伏図 S = 1 / 50



立面図 S = 1 / 100



平面図 S = 1 / 50



矩計図 S = 1 / 30

平成 28 年 5 月 18 日

## 皆で「矢作川流域ものさし」をつくろう

根羽村森林組合

0265-49-2120

### 趣旨

矢作川の流域にある 23 種類の木を組木にして、素敵な「矢作川流域ものさし」を 3 個つくります。

ものさしをつくりながら、私達の身の回りにはどんな木があるのか、どんな肌ざわりや木の色をしているのか感じてみましょう。

ものさしと一緒に「わたしの流域ものがたり」も作ります。それには、根羽村の水源や四季折々のすてきな場所など、自分の大好きな根羽村の魅力を書いてみてください。

出来上がった「流域ものさし」と「わたしの流域ものがたり」1 セットを下流域の方々にプレゼントをして、根羽村の様々な魅力をひとり一人が伝え、たくさんの方々が矢作川流域の魅力に気がついてほしいと思います。

今回のプレゼントは静岡県浜松市天竜区<sup>くんま</sup>熊小学校の皆さんと、根羽小の皆さんで「矢作川流域ものさし」と「天竜川流域ものさし」を交換する予定です。

日 時 6月4日(土) 10:00~15:00

場 所 根羽村老人福祉センター「しゃくなげ」

内 容

午前 「矢作川流域ものさし」づくり ひとり3個  
(持ち帰りはひとり2個になります)

午後 「ものさし」の作品発表

「動く木のおもちゃ・木っころ」を楽しむ

講 師 根羽村森林組合 小野隆治

デザイナー 小粥千寿

スギダラ天竜支部長 袴田彩子

参加料 ①材料代・お昼付き 500円

お昼は五平もち2本・汁ものです

②材料代のみ 100円

どちらか選択してください

切り取り

お名前 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

参加料 計 \_\_\_\_\_ 円

注)お名前の前に①または②を記入してください。保護者の方などどなたでも参加できます。

参加料は当日いただきます。5月26日までに提出してください。

やはぎがわ  
わたしの 矢作川 流域ものがたり

名前： \_\_\_\_\_

- ①自分の家の位置に★印をつけよう！
- ②矢作川での思い出を書こう！
- ③行ったことのある場所（行ってみたい場所）に●印とその場所の名前を書こう！
- ④行ったことのある場所での思い出（行ってみたい場所：なぜ行きたいか？）を書こう！
- ⑤モノサシにも印をつけよう！



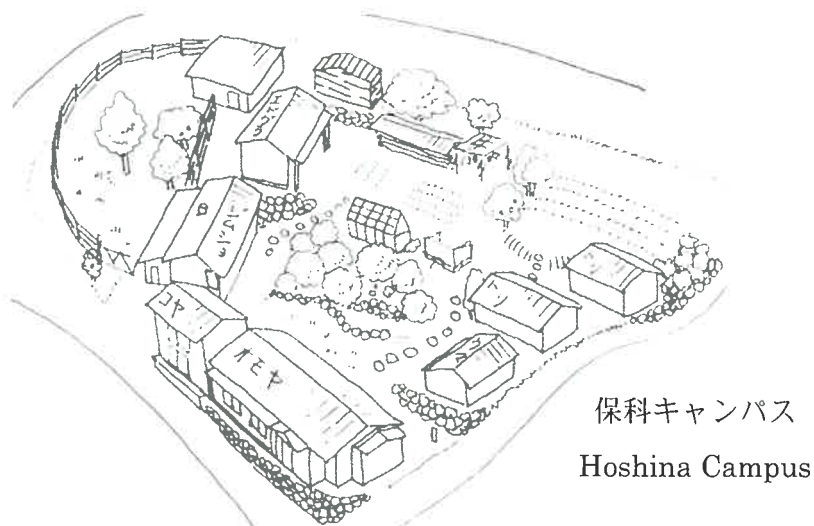
やはぎがわ りゅういき  
わたしの 矢作川 流域ものがたり

名前： \_\_\_\_\_

- ①自分の家の位置に★印をつけよう！
- ②矢作川での思い出を書こう！
- ③行ったことのある場所（行ってみたい場所）に●印とその場所の名前を書こう！
- ④行ったことのある場所での思い出（行ってみたい場所：なぜ行きたいか？）を書こう！
- ⑤モノサシにも印をつけよう！



ほしなカレッジ合宿(案)  
Hoshina College Gasshuku



長野市中山間地域にある保科で、力を合わせて美しい里山を  
取り戻しましょう！

共同作業して汗をかいてお酒をワイワイ飲みましょう♪

日 時：2016年6月18日(土)11:00 スタート

6月19日(日) 16:00 フィニッシュ

場 所：〒381-0102 長野県長野市若穂保科4455

(株)文化事業部 Tel. 026-214-6282

持ち物：軍手、長靴、タオル（宿泊する場合は寝袋、枕、洗面具など）

参加費：2,500円（18日1,500円、19日1,000円）

その他：保科温泉入浴料 500円

主 催：(株)文化事業部 Tel. 026-214-6282 E-mail. info@bunjil.jp

協 力：スギダラケ倶楽部、NPO 大地

スケジュール



■6月18日（土曜日）

11:30頃 ランチを取りながら参加者の紹介タイム

13:30時 作業開始（薪割り、草刈り、小屋の整理など）

17:00 温泉

19:00 BBQ

交流会

■6月19日（日曜日）

9:00頃 作業開始

12:00ランチ

16:00頃若穂保科を出て17時頃長野駅着解散。

東京組は17:34長野発19:12東京着はくたか570号



（株）文化事業部 代表  
セーラ・マリ・カミングス  
E-mail. [info@bunjil.jp](mailto:info@bunjil.jp)

第1回 ほしなカレッジ合宿 参加者名簿 (スギダラ倶楽部)

10:50分着

| 地区  | 参加者氏名                   | 所属           | 18日土曜 | 19日日曜 | 帰り          | 18日東京組ピックアップ | 備考 |
|-----|-------------------------|--------------|-------|-------|-------------|--------------|----|
| 東京  | 若杉浩一 Koichi Wakasugi    | パワープレイス(株)   | ◎宿泊   | ◎     | 新幹線17:34長野発 |              |    |
| 東京  | 千代田健一 Kenichi Chiyoda   | パワープレイス(株)   | ◎宿泊   | ◎     | 千代田号        |              |    |
| 東京  | 内田みえ Mie Uchida         | サイレントオフィス    | ◎宿泊   | ◎     | 新幹線17:34長野発 |              |    |
| 東京  | 志村美来 Mira Shimura       | 内田みえさん長女     | ◎宿泊   | ◎     | 新幹線17:34長野発 |              |    |
| 東京  | 小林健一 Kenichi Kobayashi  | パワープレイス(株)   | ◎宿泊   | ◎     | 新幹線17:34長野発 |              |    |
| 東京  | 高山康秀 Yasuhide Takayama  | (株)内田洋行      | ◎宿泊   | ◎     | 千代田号        |              |    |
| 東京  | 伊藤喜久恵 Kikue Ito         | スギダラ本部メンバー   | ◎宿泊   | ◎     | 千代田号        |              |    |
| 東京  | 堀江ひろこ Hiroko Horie      | パワープレイス(株)   | BBQまで | ×     | 新幹線20:55長野発 |              |    |
| 東京  | 堀江隆一 Ryuichi Horie      | (株)内田洋行      | BBQまで | ×     | 新幹線20:55長野発 |              |    |
| 長野  | 千代登 Noboru Chishiro     | 長野県庁林務部      | ◎宿泊   | ◎     | 千代号         | 内田みえさん親子     |    |
| 長野  | 岩間光輝 Mitsuteru Iwama    | 長野県庁林務部      | ◎宿泊   | 朝出発   | 岩間号         |              |    |
| 長野  | 日詰究 Kiwamu Hizume       | 長野県庁林務部      | ×     | ◎     | 日詰号         |              |    |
| 長野  | 日詰さん お子さん1              |              | ×     | ◎     | 日詰号         |              |    |
| 長野  | 日詰さん お子さん2              |              | ×     | ◎     | 日詰号         |              |    |
| 長野  | 宮崎正毅 Masaki Miyazaki    | 長野県木材協同組合連合会 | 夕刻まで  | ×     | 宮崎号         |              |    |
| 根羽村 | 今村豊 Yutaka Imamura      | 根羽村森林組合      | ◎宿泊   | ◎     | 今村号         | 堀江さんご夫妻      |    |
| 飯田  | 山崎由広 Yoshihiro Yamazaki | 三遠南信つなげ隊     | ◎宿泊   | ◎     | 山崎号         | 若杉・小林        |    |
| 飯田  | 小林美智子 Michiko Kobayashi | 飯田市役所        | ◎宿泊   | ◎     | 山崎号         |              |    |
| 飯田  | 原一樹 Kazuki Hara         | 長野県観光協会      | 夕刻まで  | ×     | 原号          |              |    |

2016.6.10

## 根羽村への「山地酪農」導入に関する要検討事項

信州大・内川

### <導入可能性について 総論>

現地調査の結果、村内の多くの箇所では十分な可能性があること、消費地も近く経営的にも有利なことが、中洞氏はじめ同行の実戦経験者の方達から指摘された。

初期実施地は、特にミルクプラントに近く、消費者への理解増進・リピーター確保、商品販売増にも直結し、かつ混牧林施業の実証展示にもなりうるネバーランド周辺は、有力な候補地と判断される。

また、国道 153 号線沿いの各地も多くの可能性をもつとされた。

なお、ムネバタ牧場は、周辺部が急傾斜かつ外周道路がないことから、牧柵管理に労苦を要することが懸念された。また、バラ等の掃除刈りにも少人数の場合は苦勞が想定されるという。

ミルクプラントは 20 年前の設置ながら管理が非常に良く、十分であるとされた。

一方、経営についても数倍の販売増が可能と指摘された。

### <将来ビジョン>

#### 1. 構想素案

- ・当面、現状の生産を維持しつつも、徐々に「山地酪農方式」にシフトする
- ・5年程度?を目途に切り換え、山地酪農の運営を軌道にのせる
- ・できるだけ早く試験放牧（3年程度の実施期間）を開始し、検討事項の洗い出しをする
- ・販売方法の切り換えにも、方法と時間を要するため試験期間を設け準備する
  
- ・販売までの6次化に当たっては明確な「理念」を確立する必要がある  
（儲けのみ走らず、環境の継続性・持続性を最重要視する配慮が不可欠）
- ・それに合わせた、実証展示、情報発信、人材育成をあわせて充実させるべき

#### 2. スケジュール素案

- ・別添 計画素案より 5年間のながれ  
「試験放牧」⇒「理念確立」⇒「販売」⇒「本格実施」⇒「展開」

(0)関係者の中洞牧場訪問 9月～10月：日程調整 メンバー

#### (1)試験放牧実施箇所の選定

##### 1)概略対象地の森林資源調査

- ・ネバーランド周辺の村有地を中心に、国道からみえる景観を配慮して概略エリア設定
- ・概略対象地に対し、既存の状況データを把握（森林および下層植生）
- ・現況データ（単木および植生等）を踏まえ、実施候補エリア（2-3ha程度）を絞り込む

2) 毎木調査 (素材搬出 (林業) 面からの視点)

- ・混牧林地の性格 (畜産面との融合コンセプトの明確化)  
更新施業? を目指すべきか  
広葉樹等の景観環境林とすべきか?  
広葉樹等の生活環境林とすべきか? (椎茸・クルミ・桑等との組み合わせ)

3) 林相調査 (放牧管理面からの視点)

- ・広葉樹の配置 (日陰地、防風・防雪への配慮等)
- ・景観面から

4) 林床植生調査 (放牧管理面からの視点)

- ・食草種分布および量

5) 準備

- ・森林所有者への調査および許可依頼
- ・調査者への依頼と費用負担 (森林組合?)
- ・調査結果を踏まえた適地選定の検討 (村、中洞牧場、森林組合、大学等)
- ・実施計画の作成  
(搾乳用簡易牛舎配置や乳輸送経路等も含む)

(2) 試験放牧地の整備

- 1) 保残木のマーク
- 2) 除伐
- 3) 伐木整理

4) 牧柵設置箇所の刈払い等

- ・電気牧柵の設置
- ・木柵 (景観配慮箇所) ※費用及び労力算定

(3) 牛の導入

- ・開拓牛 (先導牛) の導入 (2 頭?)  
モニタリング
- ・搾乳牛 (地元牛) のレンタル導入 (1 頭)  
モニタリング  
即時販売の可能性 (目の前の牛から搾った牛乳の加工品)

(4) シバ地化観察

- ・中洞牧場シバの移植

3. 村内全域のゾーニング

- ・本年度実施予定の「航空レーザ解析による『森林資源量調査・解析』」
- ・次年度、持続的な『地域森林管理計画』の検討・策定?

- ・①持続的生産林エリア、②保全環境林エリア、③集落周辺環境林エリア（混牧林含む）

(1)本年度早期の実施と、成果取りまとめ

(2)次年度、全村計画策定にむけた検討とゾーニング策定

- ・山地酪農導入候補エリアの明確化
- ・導入候補地の優先順位化（国道沿いを優先？）と用地に対する方針作成
- ・人材（地域おこし協力隊、森林組合内作業班？地元酪農家）

#### 4. 販売について

(1)現状

- ・販売額
  - 乳製品 253万円/月 ×12 = 3000万円/年
  - 牛乳 21% ヨーグルト 57% ソフトミックス 11% アイスクリーム 11%
- ・販路
  - 売店 44%（ネバーランド）
  - 卸し 56%（飯田市 23% 刈谷市・安城市 33%）（定価の 8-7 割）

(2)当面における要検討事項

- ・賞味期限の短い「牛乳」は量を抑えつつも、「背景」説明の存在として位置づける。
- ・説明すべき「背景」が課題
  - （生産過程、自然環境影響、加工品への添加物・・・）
- ・「ヨーグルト」と「ソフトミックス」、「アイス」の加工品主体にし、バランスを考える
- ・「ソフトミックス」：8月の夏場に不足する（具体的な量？）
  - 冬場にも生産、保管して販売すべき（保管場所の検討）
- ・現行設備の状況から3-4倍の売上げが可能では？との指摘
- ・「卸し」を抑えて「直販」の各種形態を模索すべきか（利益増）
  - （直販：個別販売（販路開拓）、共同購入グループ、「良い食品づくりの会」協力店等）

(3)将来にむけた切替期間

- ・「理念」の確立と切替ステップ案の作成
- ・試験販売

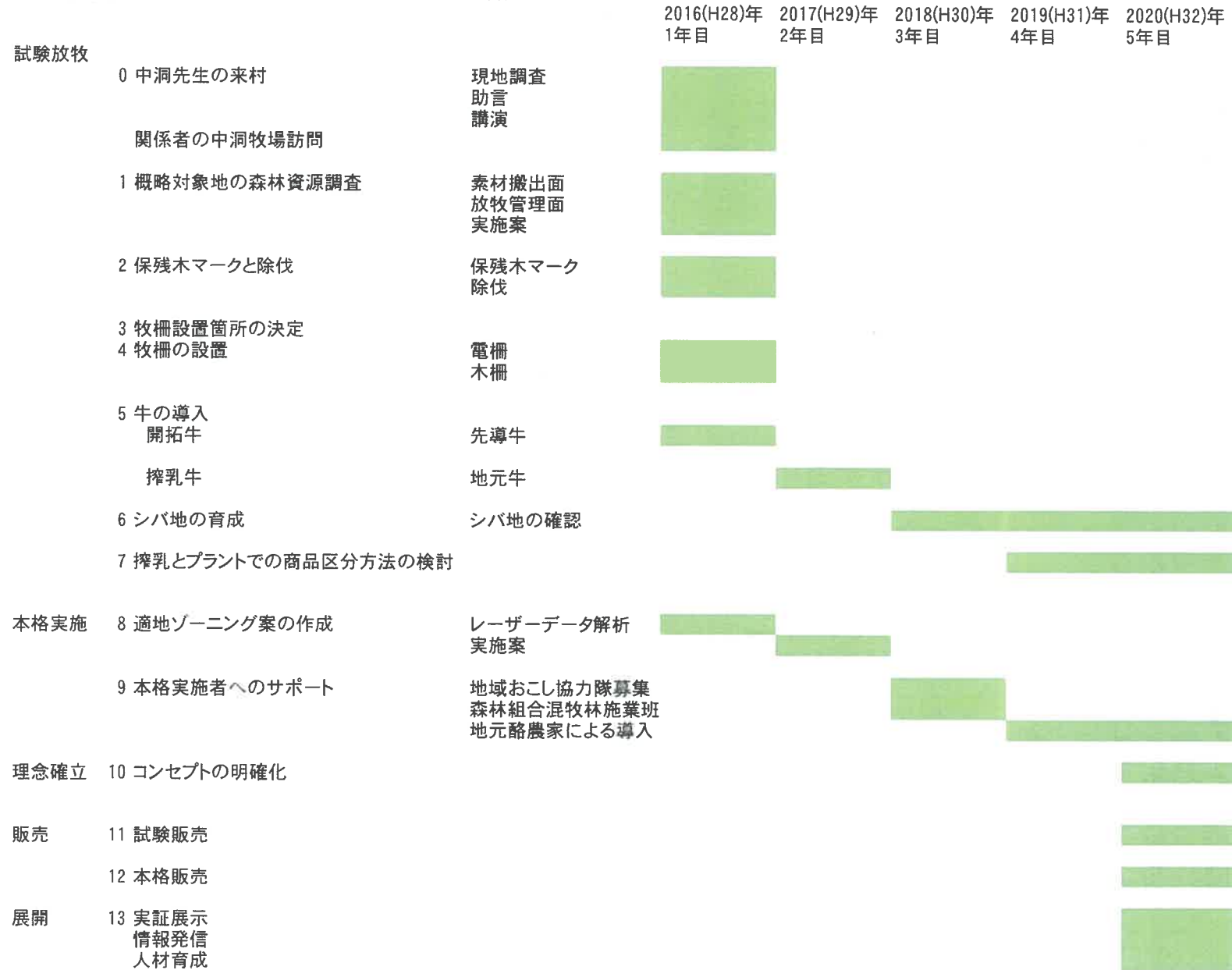
#### 5. 展開について

(1)実証展示

- ・ネバーランド周辺の実証展示用、案内板、導入路等の整備
- ・情報発信（山地放牧試験はじめました等）
- ・人材育成（試験放牧地への中洞牧場からのスタッフ派遣等）

20160609

「山地酪農導入にむけた段階的(5年程度)計画案案(たたき台)」





平谷村

4918-831  
231,575 m<sup>2</sup>  
**保安林**  
根羽村

4918-806  
10,451 m<sup>2</sup>  
山林  
根羽村

ネパールランド

ゴーン



今後の山部会の予定です。日程の確保をいただければ幸いです。

- ・ 7月 22（金）～23日（土） 第34回山部会 WG（根羽）
- ・ 9月 16日（金） 第35回山部会 WG（恵那）
- ・ 10月 7（金）～8日（土） 第36回山部会 WG（岡崎）
- ・ 11月 25日（金） 第37回山部会 WG（根羽）
- ・ 12月 16（金）～17日（土） 第38回山部会 WG（豊田）
- ・ 1月 山部会地域部会（岡崎）